

朝ドラで大注目！？

気象予報士とは？

気象予報士とは？

現在放送中の「おかえりモネ」で脚光を浴びる気象予報士は、気象業務法の改正によって1994年に創設されました。以前、予報業務は気象庁の職員しか行えませんでした。が、この制度の創設によって民間の気象会社の職員も予報ができるようになりました。

試験の概要

試験は8月・1月に年2回実施されています。1回あたりの受験者数は3000人ほどで、合格率は約5%の難関資格です。試験には学科と実技があり、実技試験ではデータをもとに実際に天気を予報することが求められます。

そんな気象予報士ですが、中央経済社からガイドブックを発売することになりました。全国に受験者がおり、キャスターの印象に反して男性の受験者も多い資格なので、多くの方が勉強されています。貴店の棚にもぜひいかがでしょうか！



気象予報士試験 サクラサク勉強法

中島俊夫 編著
(8/12発売)

ISBN : 978-4-502-39161-3
本体1,900円+税

取次番線印

ご注文数：